



平成 25 年 7 月 24 日

報道機関各位

(財)本庄国際奨学財団の奨学生と県立大学生と一緒に『水ボラ』を行います！

本学では、東日本大震災津波の発災直後から、盛岡短期大学部の千葉啓子教授を中心とするメンバーにより広田半島の被災者等にペットボトル水を配布するボランティア活動、通称「水ボラ」の活動を行ってきました。

この度、(株)伊藤園様から支援物資の「水」を提供いただいているご縁により、(財)本庄国際奨学財団の奨学生と本学の学生等が共同で下記のとおり「水ボラ」の活動を行いますのでお知らせします。(同財団は、平成 8 年 12 月に(株)伊藤園の当時の代表取締役会長が設立)

当日の取材についてよろしくお願いたします。

記

- 1 日 時 平成 25 年 7 月 27 日 (土) 11 時頃から
- 2 場 所 陸前高田市小友町『モビリア』及び市内高田町仮設住宅
- 3 活動内容 ペットボトル水 (株)伊藤園から無償提供) をトラックから降ろし、仮設住宅等各戸へ配布。
- 4 活動スケジュール

時 間	場 所	活動内容等
11:00 頃～	小友町オートキャンプ場モビリア北サニタリーハウス『モビリア』	水ペットボトル 1000 箱 (2L 入り 6 本) の搬入作業 (トラックから保管場所としている北サニタリーハウス内へ移動)
12:00～13:00		(昼食)
13:00～16:30	市内高田町高田高校第 2 グランド、高田第一中学校 I～III 期仮設住宅	水 (ペットボトル水) の各戸配布と声掛け

※ 財団奨学生は 11 時 30 分到着予定 (10 時頃に新花巻駅に到着し県立大学からのバスに同乗)

5 活動者

- ・(財)本庄国際奨学財団の奨学生 14 名程度 (株)伊藤園社員を含む)
- ・本学学生及び教職員等 15 名程度

6 その他

- (1) 当該財団の奨学生は、9 月下旬に実施する本学とオハイオ大学の学生による交流活動にも参加予定
- (2) (株)伊藤園からのペットボトル水は、24 年度も 1500 箱の無償提供を受けている。
(当初、岩手県に寄せられた支援物資の「水」を配布していたが、それが無くなった後、(株)伊藤園の協力により、継続しているもの。)

■参 考：(財)本庄国際奨学財団の概要

平成 8 年 12 月に、(株)伊藤園代表取締役会長本庄正則氏が、個人資産 2 億円と(株)伊藤園株式を寄付して設立したもの。(平成 14 年本庄正則氏が他界し、夫人の本庄照子氏が理事長に就任)

主に、発展途上国とその地域の平和的発展を願い、将来そのリーダーとなりうる優秀な学生に対し、資金援助を行っている。(平成 22 年度までに 58 カ国 350 人が受領) (当該財団ホームページより)

<本件に関するお問い合わせ先> 岩手県立大学 盛岡短期大学部 教授 千葉啓子

電話 019-694-2924



T020-0193 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字菓子152-52 www.iwate-pu.ac.jp/

これは最も適切な形状といわれる「ハニカム構造」をモチーフに、県立大学と短大、大学部との結びつき、県民との強いつながりを表しています。
Copyright © 2011 IPU All Right Reserved.